

# 田川市立病院 ニュースレター

VOL 18 夏号/2017

## 食堂棟再開 ~コンビニとイートインコーナーを開設~

田川市立病院では、平成22年以来、院内環境の再整備に努めてきました。

この度、その一環として、平成29年7月1日に、当院利用者等のサービスの向上及び職員の福利厚生の充実を目的として、正面玄関入口前の食堂棟にコンビニエンスストアとイートインコーナーを開設しました。

食堂棟の再開は、およそ10年ぶりになり、再開に際し、当日は開設式を行いました。



オープニングセレモニーの様子

コンビニでは、お弁当や飲料など通常のコンビニ商品に加え、医療機関内にあるコンビニとして医療雑貨や日用品なども豊富に取り揃えています。さらに、その他のサービスとして公共料金の支払い手続きやクレジットカード、電子マネーの利用も可能となり、より質の高いサービスの提供ができるようになりました。

イートインコーナーでは、特設テーブル(8卓)、イス(40脚)、テレビ、ウォーターサーバーなどを設置し、コンビニ等で購入されたものを飲食したり、自由に歓談したり、くつろぎのスペースとして気軽に利用していただきたいと考えています。

コンビニエンスストア



イートインコーナー





設置場所:正面玄関前食堂棟内
営業時間:平 日/ 7:45~20:00
土曜日 / 7:45~17:00
日祝日 / 10:00~15:00

## 7月1日から病院敷地内が

# 全面禁煙になりました



当院では、平成29年7月1日から駐車場を含む病院敷地内を全面禁煙といたしました。

喫煙は肺がん、喉頭がんをはじめとした多くのがんや心臓病、脳梗塞、肺気腫、妊娠合併症、乳幼児突然死症候群などの病気を引き起こすことが明らかにされています。日本では年間10万人がタバコの犠牲者になっていると推計されています。これは、年間交通事故死亡者の約10倍にあたります。

また、近頃は、タバコの先から立ちのぼる副流煙による周囲の人々に対する受動喫煙の有害性が叫ばれています。有害物質は、喫煙者が吸う主流煙より副流煙に多量に含まれていることが証明されています。

近年制定された「健康増進法」、「改正労働安全衛生法」により、多数の人が利用する施設では受動喫煙を防止するための措置を講じなければなりません。さらに、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け受動喫煙防止対策が強化されることとなりました。医療機関や学校においては敷地内全面禁煙が義務化される予定です。

元来、病院は健康を取り戻すための施設であり、住民の健康を守ることを使命としています。そのため、当院はいち早く、駐車場を含め敷地内を全面禁煙といたしました。



スタッフも、昨年11月から段階的に敷地内全面禁煙に取り組んでまいりました。

7月1日以降、喫煙されている方にはつらいことだと思いますが、来院された際は喫煙を我慢していただき、敷地内の全面禁煙にご協力願います。

できましたら、これを機会に禁煙されることをお薦めします。当院では、禁煙治療を始めましたので、お気軽にご相談ください。禁煙のお手伝いをします。

以上、ご来院の方々が禁煙の必要性と当院の取り組みをご理解くださり、敷地内全面禁煙にご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。そして、より健康的な生活を始めるきっかけとしていただければ幸いです。

# 地域住民講演会

## ～病気や健康について学びましょう～

病院長　鴻江　俊治

病気を治療する上で早期発見、早期治療が望ましいことは言うまでもありません。さらにもっといいことは、病気にかからないことです。早期発見あるいは予防のためには病気のことをよく知ることが大切です。田川地域のみなさんに病気や健康について知って欲しい、そんな気持ちから、この講演会を始めることにしました。

第1回は、平成29年6月24日（土）の午後2時から、「あなたのそれ、減塩ですか？」をテーマに、塩分と病気予防について腎臓内科医師、看護師、管理栄養士による講演と味覚チェックテストの実演を行いました。塩分を過剰に摂取することで様々な健康問題を引き起こすという話や減塩に対するアドバイスなどをしました。参加者からは、減塩に日頃から興味があり、塩分を摂り過ぎるとなぜよくないのかということを学ぶだけでなく、実際に食べ物を選ぶ際のポイントや注意することなども教えてもらい役に立ったという感想をいただきました。アンケートでは、参加された方全員が満足と回答しました。今後もみなさんの関心が高い糖尿病やがんなどのテーマを取り上げていくこととしています。ふるってご参加ください。



# すばらしい麻酔科の仕事について



麻酔科 部長　小山　稔

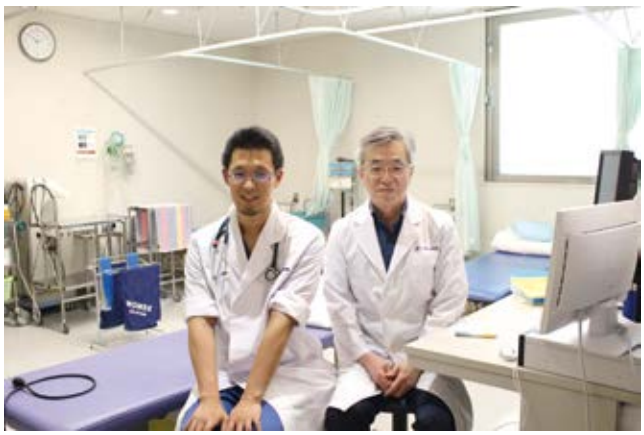
麻酔科の仕事は、手術の麻酔だけでなく、ペインクリニック（痛みの診療）、救急・集中治療なども麻酔科の守備範囲ですが、麻酔科医が少ないのが現状です。

病院では経営が問われますが、病院各科の中で麻酔科としての収益が計上されていない病院があり、多岐にわたる善き働きに対して、麻酔科の歴史の浅さを感じさせられます。これからの麻酔科と病院の充実のためにも、その素晴らしい働きを知っていただくことが必要です。

麻酔科の働きは非常にやりがいがあります。病院内のすべての科と関わり、さまざまな状況を評価把握して、リスクを回避し、安全に危機管理を行う努めです。かけがえのない“いのち”を守り、痛みに関わり全人的関与が行われ、回復に寄与します。痛み、苦しみ、危機、困難に対峙し、乗り越える忍耐と力を必要とします。スペシャリストとしての知識・技術の向上は継続して求められます。

当院は7月から麻酔科医（常勤）が1人増えました。

名医の素晴らしい手術の麻酔をかけられることは、麻酔科医として光栄ですが、これからの外科医が成長していく姿に接することができるのも幸いです。生命の危機にある患者さんが、大変な手術を乗り越えて、元気に回復することができたときの喜びは、麻酔科医としてもひとしおのものがあります。手術室、病院のスタッフとともに痛みを持つ患者さんに寄り添い、回復を祈り、患者さんが軽快して生活していく姿を見るときも大きな喜びがあります。しかし、痛みから回復する方々もいつかは弱り、その命は取られるものです。弱りゆくときにも、その人格が尊ばれ、耐えることのできる力と内なるものが強められていく、そのような“いのち”の尊厳を覚える医療ができればと願っています。



# 熱中症



救急科 部長　田中　潤一

毎年暑くなる7～9月には熱中症の患者が増えます。熱中症は全国的にも問題となりテレビ番組にも取り上げられることが多く、連日のようにニュース番組で「本日は全国で熱中症による救急搬送が○件ありました」というフレーズを耳にすると思います。

熱中症には労作性熱中症と非労作性熱中症があります。労作性熱中症は若年のスポーツや壮年の労働によって起こり、屋外での発生が多く重症例は少ないと言われています。非労作性熱中症は日常生活の中で高齢者に多く発生し、高齢・独居・日常生活動作の低下・基礎疾患を有する方などに重症例が多いと言われています。

熱中症は、高温多湿な環境に身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。①めまいや顔のほてり②筋肉痛や筋肉のけいれん③体のだるさや吐き気④汗のかきかたがおかしい(拭いても拭いても汗がでる、もしくは全く汗がでない)⑤体温が高い、皮膚が乾いている⑥呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない⑦自分で水分補給ができない・・・これらの症状は熱中症にかかっている危険があります。

ご家族で対処が困難な時は、早めに病院を受診してください。熱中症を疑うけれども病院に連れて行くほどではない状態の場合、目を離さず、継続して観察してください。そのまま改善することもありますが、徐々に症状が増悪することもあります。屋外での労作性熱中症を疑う場合、日陰に移して足を挙げて休ませ、濡れたタオルで身体を拭いてあげてください。そして、スポーツドリンクを飲ませて塩分を摂らせてください(塩飴など)。自力で水分摂取ができない場合はすぐに救急車を呼んで病院を受診させましょう。

熱中症の予防法としては「水分をこまめにとる」「塩分をほどよくとる」「睡眠環境を快適に保つ」「バランスの良い食事や十分な睡眠時間の確保など、丈夫な体をつくる」「室内を涼しく」「日差しをよける」「気温と湿度を気にする」などが挙げられます。



# 田川市立病院　外来診療担当医

■外来診療受付時間 8:30～11:00　■休診日　日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

平成29年8月1日現在

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 新患 | — | 桑田 孝一 | 兼田 吉紹 | 浅田 哲史(非常勤) | 瀬戸山 航史 | |
| | 再来 | 瀬戸山 航史<br>閉塞性動脈硬化症専門外来<br>兼田 吉紹 | 松島 将士(九州大学) | 船越 公太(九州大学) | 桑田 孝一<br>細川 和也(九州大学) | — | |
| 消化器内科 | 新患 | 平野 昭和 | 高津 典孝 | 平塚 裕晃(福岡大学筑紫病院) | 大藏 裕子 | 小野 貴大 | |
| | 再来 | — | 平野 昭和 | 小野 貴大 | 高津 典孝 | — | |
| 腎臓内科 | 新患 | 大仲 正太郎 | — | 吉田 健 | 辻川 浩明(九州大学) | 末永 達也 | 当番医(新患のみ) |
| | 再来 | 末永 達也 | 大仲 正太郎 | — | — | 吉田 健 | |
| 糖尿病内分泌内科 | 新患 | — | — | — | 牧村 啓晃 | — | |
| | 再来 | 池田 陽介(九州大学) | 岡本 実里(九州大学) | 妊娠糖尿病外来<br>牧村　啓晃(第1・3)<br>井林 雄太(九州大学)<br>名誉院長<br>池田 喜彦(第4のみ) | — | 牧村 啓晃 | 糖尿病外来(第1・3・5)<br>予約のみ<br>藤井 雅一(九州大学) |
| 脳血管内科 | 新患 再来 | — | — | 芝原 友也(九州大学) | — | — | |
| 呼吸器内科 | 新患(要予約) 再来 | — | 田中 謙太郎(九州大学) | — | — | — | |
| 肝臓内科 | 新患 再来 | 稲田 浩気(九州大学) | 徳松 誠(九州大学)<br>伊原 諒(福岡大学筑紫病院) | — | — | — | |
| 神経内科 | 新患(要予約) 再来 | — | — | 磯部 紀子(九州大学) | — | — | |
| 内科 | 新患 再来 | — | — | — | — | 中園 和利(産業医科大学) | |
| 緩和ケア内科 | 新患 再来 | 河村 康司 | — | — | 河村 康司 | — | |
| 小児科 | 新患 再来 | 尾上 泰弘 | 倉田 浩昭 | 伊藤 雄哉 | 倉田 浩昭 | 尾上 泰弘 | 当番医 |
| | 再来 | 循環器外来(第4午後)<br>濱本 邦洋(非常勤) | 腎臓外来(第4午後)<br>尾上 泰弘 | 血液・免疫・ワクチン外来(第4午後)<br>大賀 正一(九州大学)<br>血液・免疫・ワクチン外来(第1～3午後)<br>高田 英俊(九州大学) | — | 神経外来(第1午後)<br>非常勤医師(九州大学) | 神経外来(第3午前)<br>非常勤医師(九州大学) |
| 外科 | 新患 | 松隈 哲人 | 鴻江 俊治 | 丸山 晴司 | 鴻江 俊治 | 松岡 弘也 | 当番医 |
| | 再来 | 中ノ子 智徳 | 丸山 晴司 | 松岡 弘也 | 中ノ子 智徳<br>血管外科外来(第2・4)<br>非常勤医師(九州大学) | 松隈 哲人 | 休診 |
| 呼吸器外科 | 新患 再来 | — | 非常勤医師(九州大学) | — | — | — | 休診 |
| 整形外科 | 新患 再来 | 久枝 啓史<br>新井 貴之<br>遠矢 政和(九州大学) | 久枝 啓史<br>石橋 正二郎<br>綾部　裕介 | 石橋 正二郎<br>新井　貴之 | 久枝 啓史<br>新井 貴之<br>馬場 覚(九州大学) | 久枝 啓史<br>石橋 正二郎<br>綾部　裕介 | 当番医 |
| | 再来 | — | 名誉副院長<br>張 瑞棠 | — | 名誉副院長<br>張 瑞棠 | 名誉副院長<br>張 瑞棠 | — |
| 形成外科 | 新患 再来 | 柳澤 明宏 | 柳澤 明宏 | 柳澤 明宏 | 柳澤 明宏 | 柳澤 明宏 | 休診 |
| 皮膚科 | 新患 再来 | 分山 英子 | 分山 英子 | 分山 英子 | 分山 英子 | 分山 英子 | 休診 |
| 泌尿器科 | 新患 再来 | 石田 浩三<br>坪内 洋明 | 石田 浩三<br>坪内 洋明 | 石田 浩三 | 坪内 洋明 | 石田 浩三<br>坪内 洋明 | 当番医 |
| 産婦人科 | 産科(妊婦検診) | — | 藤田 拓司 | 宮崎 順秀 | 椎名 隆次 | 川上 穣 | 休診 |
| | 婦人科 新患 | 川上 穣 | 宮崎 順秀 | 椎名 隆次 | 藤田 拓司<br>川上 穣 | 交替 | |
| | 婦人科 再来 | 交替<br>藤田 拓司 | 椎名 隆次 | 川上 穣<br>清木場 亮(九州大学) | 宮崎 順秀 | 藤田 拓司 | |
| 眼科 | 新患 再来 | 永戸 天 | 永戸 天<br>塩瀬 聡美(九州大学) | 永戸 天<br>立花 崇(九州大学) | 永戸 天 | 永戸 天 | 休診 |
| 耳鼻咽喉科 | 新患 再来 | 非常勤医師(福岡大学) | 非常勤医師(産業医科大学) | — | 非常勤医師(福岡大学) | — | 非常勤医師(産業医科大学) |
| 総合診療科 | 新患 再来 | 河村 康司 | — | — | 河村 康司 | — | — |
| 麻酔科 | 新患(要予約) | 術前診察<br>小野 雄介 | — | 疼痛<br>小山 稔 | 疼痛・術前診察<br>小山 稔 | — | 休診 |
| | 再来 | — | 疼痛<br>小山 稔<br>小野 雄介 | 透視下ブロック<br>小山 稔 | — | 疼痛<br>小山 稔<br>小野 雄介 | |
| 歯科・歯科口腔外科 | 新患 再来 | 天野 裕治<br>藤田 弥千 | 天野 裕治<br>藤田 弥千 | 天野 裕治<br>藤田 弥千 | 天野 裕治<br>藤田 弥千 | 天野 裕治<br>藤田 弥千 | 当番医 |

新患 新しく受診される患者さん　再来 当院を受診され、予約をしている患者さん　小児科夜間診療時間(受付時間):平日の18:00～21:30

## アクセス

**JR+平成筑豊鉄道**
JR田川後藤寺駅→JR田川伊田駅
平成筑豊鉄道田川伊田線→田川市立病院駅
※田川市立病院駅からは無料の連絡バスが出ています。

**西鉄バス**
後藤寺(金田平原団地行き)→田川市立病院

**田川市コミュニティバス**
路線①坂谷・田川病院線　※後藤寺②へ乗り換え
路線②大浦・弓削田線
路線③伊加利・松原線
路線④鎮西・金川線
路線⑤施設循環線　※伊田駅前で③か④へ乗り換え
路線⑥白鳥工業団地線　※伊田駅前で③か④へ乗り換え

田川市立病院
〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 ／ ホームページアドレスhttp://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/
TEL 0947-44-2100 ／ FAX 0947-45-0715 ／ 企画・発行 田川市 病院局